

社会医療ニュース

社会医療研究所

〒101-0047
 東京都千代田区内神田1-3-9
 KTⅡビル4F 日本ヘルスケアテク/様内
 電話 (03) 5244-5141 代
 FAX (03) 5244-5142
 E-mail:syakairyou-news@nhtjp.com
 HP: https://syakairyou-news.com/
 定価年間 6,000円
 月刊 15日発行
 振込銀行 三菱UFJ銀行
 京橋支店 (023)
 普通口座 1712595
 発行人 小山 秀夫

当たり前を疑い続けながらそれでも

可能性を極限まで追求していくぞ!!

所長 小山 秀夫

勝って嬉しい花いちもんめ
負けて悔しい花いちもんめ

ワールドカップ（W杯）カタール大会12月1日のスペイン戦を征した森保一監督は、「みんなが世界の舞台で勝てることを示してくれた」といいました。

ドイツ戦の勝利に『歓喜』したわたしは、スペイン戦については『勝てるのかな』と思いつつテレビ観戦していました。なにしろ『勝負強い！』と思われませんでした。代表26人の選手のうち19人が『欧州組』と呼ばれ欧州のクラブチームに所属しています。残り7人のうちゴールを守る権田修一さんを含め3人は欧州経験者なので、純粋な『国内組』は4人だけだそうですね。サムライ・ジャパンは世界で羽ばたいています。

2006年のW杯ドイツ大会時の『欧州組』は、中田英寿さんら6人のみでしたが、前回の18年口

シア大会では18人でしたから、欧州クラブに呼ばれる選手が大活躍する時代になったのでしょう。06年6月22日ドルトムントのウエストファールンスタジアム。4対1で負けた後のピッチで中田選手が倒れたままでしばらく動かない姿を、わたしはすぐそばでみつめていました。このゲーム後、中田選手は引退しましたので、つくづく『世界の壁は高い』ことを思い知りました。この日は対ブラジル戦でスタジアムはブラジル一色、ブルーのユニホームの人は3000人位しかいなかったのではないかと記憶しています。

ドイツ大会決勝トナメントでドイツはアルゼンチンに勝ち、準決勝でイタリアに負け、3位決定戦に勝利しましたが、この時のドイツはどここの街でも大騒ぎでした。特に、メルケル首相の大喜びは、忘れることができません。14年ブラジル大会でドイツは悲願の

W杯を手に入れます。強豪ドイツに日本が勝ち、決勝トナメントにドイツがないことを想定していた人をわたしは知りませんので、今大会のドイツ戦勝利は歴史的味道があると思います。

そして、クロアチア戦です。すばらしい深夜の3時間でしたね。どちらにもチャンスはあったし、前回W杯の準優勝国のクロアチアと互角の戦いです。ただPK戦は残念でした。それでも、サムライブルーは世界に通用する実力があ

当たり前をもう一度疑う習慣を取り戻してみよう

日本の21年の国民1人当たり名目GDP（USDドル）ランキングは27位で、時間当たりの労働生産性は49・5ドルにすぎません。そればかりか、債務残高はGDPの2倍を超えており、主要先進国の中で最も高い水準にあります。75歳以上の人々が増加し、働く世代の人口は減少、出生数の低下に歯

止めがききません。おまけに物価上昇に賃上げが追いつきません。日本の勢いが復活せず、このまま極東の老いたドラゴンとしてのたうちまわるしかないのかな、とわたしは思い込むことがこの3年間何度もありました。明るいニュースもなく、政治も経済も社会もだめなのが「当たり前」なような気がして、やりきれない雰囲気になったりもしますが、生来の楽観主義者なのか「何とかなるだろう」とか「なるようにしかならない」と腹をくくってきました。

今回のW杯は、「当たり前をもう一度疑う習慣を取り戻してみよう」という問いかけではないかと思えます。考えるまでもなく「当たり前」も「常識」も「誰もが予測している」ことも、そしてあらゆる「計画」も、実はどうなるかわからないのに、将来を安易に予想しているだけなのではないでしょうか。だから、今「当たり前を疑う」

「可能性を極限まで追求すること」を諦めない野生を追求

簡単に「諦めないで欲しい」と思います。「人生楽ありや苦もあるさ」「晴れた日ばかりではないが、やまない雨はない」などといながら、長い歴史を私達は積み重ねてきたことは確かです。先達

たちは今よりはるかに厳しい生活環境で「耐えながらも、決して諦めることなく挑戦してきたのではないか」と思います。どうも世の中便利になり、寒さや暑さに対する耐性も、ストレスに対する耐性も衰えてきたのではないかと思うことがあります。「ダメだ」なんて簡単に諦めないでください。

「お前は諦めが悪い」などといわれると「往生際が悪い」といわれているように勘違いしますが、そもそも「窮地に追い込まれて、負けを認めるしかない局面でもまだ、振舞いや態度に潔さがないこと」や「未練がましくぐずぐずしていたり悪あがきをしていたりする様子」といった意味だと思えます。往生際とは「諦めなくてはならない状況での態度や決断力」

「死に際」という意味ですから、どうせ死ぬなら「良くても悪くても」どちらでもいいのではないのでしょうか。

わかっていないとお叱りを受けるかもしれませんが、わたしは生に対する執念を死の瞬間まで持ち続けたいし、そう簡単に「諦める」ことは、しないと決めています。

生涯「可能性を極限まで追求すること」を諦めない野生を追求したいと思えます。こう考えないと、スポーツマン魂も経営者魂も医療魂も福祉魂も、天に届かないような気がします。人間は野生を失ってはならないのです。

医療ばかりではなく介護や保育そして教育従事者は職業倫理を遵守するべき

所長 小山 秀夫

静岡県警が裾野市の保育園に当時勤めていた保育士3人を逮捕したというニュースがありました。

「さくら保育園」の当時の保育士3人で、園児の顔を押ししたり、足を踏んで宙づりにしたほか、頭部を殴る暴行を加えた疑いがもたれているそうです。警察はこれに先立ち、園児への暴行の疑いで複数の関係施設を家宅捜索しました。

園では、園児をカッターナイフで脅すなど15の不適切な行為が確認され、市は「虐待」にあたる判断したとのことですが、園はすべての職員に一連の行為について口外を禁止する誓約書を書かせていたほか、内部通報した保育士に対し園長が土下座したというショッキングな報道もありました。

この件で裾野市長は、園長が園児への暴行を隠しようとしていたとして刑事告発したとのことです。1歳児クラスの保護者の1人は「3人はやったことを遊び半分で行っていたかもしれないけど、わたしも子どもも一生忘れな

い。一生許さない。どんなつもりでわたしたちの子どもを笑顔で預かったりしてたのかな。二度と子どもに携わる仕事をしないでもら

いたい」とのことですが、当然の抗議だと思えます。

9月5日午前8時50分ごろ静岡県牧之原市の認定こども園「川崎幼稚園」で園児の河本千奈さん(3)が通園バスに取り残され、午後2時10分ごろ、車内で意識不明の状態で見つかり、熱中症で死亡したという痛ましい事件から3か月。静岡県警捜査1課は12月5日、業務上過失致死の疑いで増田立義前園長(73)ら4人を書類送検しました。県警は家宅捜索で押収した資料に基づき、園の運営実態や安全管理体制の問題点を調べていたとのことですが、幼い千奈さんの命は戻りません。冥福をお祈りさせていただきます。

同じ日に富山市の認定こども園「本郷保育園」でも虐待が行われていたという報道もありましたが、人の命や人権が尊重されていない現場からの報道に接すると、改めて職業倫理について書かずにはいられなくなります。

全国保育協議会全国保育士会「倫理綱領」

すべての子どもは、豊かな愛情のなかで心身ともに健やかに育てられ、自ら伸びていく無限の可能性

性を持つています。私たちは、子どもが現在(いま)を幸せに生活し、未来(あす)を生きる力を育てる保育の仕事に誇りと責任をもって、自らの人間性と専門性の向上に努め、一人ひとりの子どもを心から尊重し、次のことを行います。

「私たちは、子どもの育ちをささえます」「私たちは、保護者の子育てをささえます」「私たちは、子どもと子育てにやさしい社会をつくります」

2003年11月29日に保育士は国家資格化となり、その際「倫理綱領」として「専門職の職能集団が自らの職務を遂行するうえで、守るべき行動の指針(約束すべき課題)を明記して公表した」ものです。医師にも看護師はじめ医療従事者の全ての国家資格職能団体、社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士の団体にも、そして教師にも「倫理綱領」が整備されています。

これらの文章は、各職業の存在意義を明確に表す貴重なもので、その職業にあるものは遵守しなければなりません。これをないがしろにすることは自らの専門性・妥当性・人間性を否定することと同等です。

犯罪者にならないという誓いそれがインテグリティですよ今年5月号の社会医療ニュース

に20年1月に死去したクレイトン・クリステンセン教授がハーバード・ビジネススクールの最終講義で「どうすれば誠実な人生を送り、罪人にならずにいられるだろうか?」と問いかけたことを書きました。マネジメント関連の本を読み進んでいると「罪人にならない」ことと、インテグリティをどのように理解して説明すればいいのかと考えあぐねますが、何とか誠実に真摯に、あるいは高潔に生きていかなければ、専門的職業も経営者も継続性を確保できないのです。

何度でもいいますが「罪人にならないように生きる」という姿勢は、犯罪を引き起こす可能性を低くするかもしれないのです。少なくともビジネスの世界でも「知りながら害をなす行為は行わない」のが基本です。

倫理の基本を一言でいえば「犯罪者になるな」なのではないでしょうか。医療従事者も社会福祉関係者も教師も「犯罪を犯してはいけない」のです。特に、患者さん、クライアント、児童生徒に対する犯罪は専門性・妥当性・人間性を否定した職業倫理違反として糾弾されるべきなのです。

何でもアリの世界でもズルはダメなのですよ何か特別なことをいいたいわけではなくて、ただ単に「何でもア

リの世界であつてもズルはダメなのですよ」といっているだけなのです。

ヒトは愚かで「多少ズルしても勝てばよい」「多少のズルは商いの常道」「正しいことしていれば利益がでない」「バレなければ大目に見てもらえるだろう」「みんながやっているとんだから、かまわない」などといってしまうことがありますよね。少なくとも、わたしはあります。

何も起こらないことはありませんが、多くの場合、悪い結果を引き起こす原因になったことが、何算してみても、「ズルして得したことより、あの時心から対応したために危険を免れた」ことの方が多いように思いますし、「あぶく銭は身に付かぬ」とか「悪銭身に付かず」という体験をしたことでもあります。

宗教的とか道徳的な話ではないことを強調しておきたいと思えます。組織や企業の不祥事は、たいして小さなズルが原因です。反省や修正は可能ですが、知りながらも長年ズルすることを黙認すると、企業自体が崩壊の危機に瀕します。

世界の企業がズルして、何社もなくなくなりました。読者の皆様は決して、犯罪者にならないでくださいよ。

有事斬然 (ゆうじざんぜん)

第35回 人口減少の進む地方における公共交通機関の維持と病院のあり方

北部上北広域事務組合公立野辺地病院 病院事業管理者 一戸 和成



病院建替えて問題となるのは再建場所である。国土交通省検討会報告書の概要も含め考えたい。

○国交省検討会報告書とJR東日本のローカル線区間別収支初公表

2022(令和4)年2月14日、国交省鉄道局が「鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会」を立ち上げた。検討会では、赤字が続く地方の鉄道のあり方を議論し、同年7月25日に、1日に平均何人運んだかを示す「輸送密度」が1000人未満の区間などを対象に、バスなどへの転換も含め、地域の自治体との協議を進めるべきとする提言をまとめた。報告書のおわりには、「この新たな仕組みは、「ローカル鉄道の存続ありき」が大前提とされ自己目的化するような文脈で活用されてはならない。定住人口や交流人口の増加を通じて、魅力ある、持続可能性の高いまちづくりを実現していく中で、(中略)各地域の戦略的思考が試されており、まさに「頑張っている地域」を応援する文脈で活用されるべきである。」との付言もされている。これに呼応する形で、同年

7月28日には、JR東日本も利用者の少ないローカル線の区間別収支を初めて公表した。開示された全ての区間が赤字で、輸送密度が1000人未満の区間は、28路線48区間となっている。JR東日本は、収支の公表をもとに、沿線自治体にバス転換や鉄道存続策を含む協議を要請する見通しだ。公表後、沿線自治体の反発は大きい。人口減少が進むなかで自治体は反発という非生産的な反応に終始するのではなく、路線の足元を見つめなおす機会と位置付けた上で、検討会報告書にあるように、住民を巻き込み、主体的に知恵を絞るべきだ。持続可能な地域交通の議論に人口減少社会を見据えた街づくりの議論を連動させる視点は欠かせない。

○先細る地方と地方自治体

直近の2020(令和2)年国勢調査で人口動態を見てみると、東北地方は、6県すべてを合わせても860万人あまりで、神奈川県924万人弱を下回り、また、全国の減少割合マイナス0.7%の約6倍(マイナス4.1%)のスピードで人口減少が加速してい

る。能力のある若い人材は東京圏を中心とした都会に流出し、地方では確実に活力が落ちていく。その状況に拍車をかけているのは、地方自治体の企画立案能力の欠如だ。青森県内の自治体は40あり、当院を管理する構成自治体の人口は3000人から13000人であり、人材も枯渇しているため、役場の企画立案機能も弱い。指導する立場にある青森県庁も少い。そのため、人口減少に喘ぎ、地域の活力がじわじわと失われていることを理解しながらも、有効な政策を打ち出せないでいる。

○街づくりの視点がない医療計画

公立病院の建替えては、再建場所の検討は必ず揉める。その背景は医療を提供する医療従事者・医療を受ける患者・住民それぞれの課題と捉え、政治家が病院の建替えてを公共事業と捉え、利益誘導によって選挙に訴えようとするからだ。当院の再建検討委員会からは、再建場所「公共交通機関の結節点」に近接することが望ましいとの報告をいただいている。それは、今後の人口減少、高齢化、単身高齢世帯の増加などを踏まえた患者の足の確保の問題と、医師を派遣する医局の意向も踏まえてのものである。しかし、構成町村の議員等の意見は、真っ向反対論が提示されるなど、我田引水の域をでな

い。こうした政治家の横やりをどうしたらなくせるのか、公立病院の再建に必ず付きまとう悩みだ。筆者は第6次医療計画(2013(平成25)〜2017(平成29)年)の策定指針の策定に携わったが、医療機関の再編・統合を促す際、「医療計画」そのものに高速交通体系の整備や公共交通機関の維持、街づくりとの連動に関する検討が弱いと感じていた。そのため、5事業の中の救急・災害・へき地医療や、在宅医療、また、かかりつけ医の議論との連携を考えれば、こうした交通体系と街づくり政策との関係も、現在行われている第8次医療計画策定に関する議論の視点に入れることが時代の要請だと考えている。実際、国交省は「更なる超高齢化を迎える都市政策の課題」への対応として、2014(平成26)年に示した「国土のグランドデザイン2050」の中で、複数の集落が散在する地域において、商店、診療所など日常生活に不可欠な施設機能や地域活動を行う場を、歩いて動ける範囲に集めて、各集落とアクセスを確保した地域の拠点づくりの普及・拡大について提言している。また、同年出された「健康・医療・福祉のまちづくりの推進ガイドライン」では、「地域包括ケアシステム」とまちづくりとの連携等により、地域全体で今後

増加する高齢者の生活を支えることができる社会の構築が必要であると、具体的には、鉄道駅やバスターミナルなどの公共交通の結節点を中心とした、おおよそ1kmの範囲(徒歩圏内)における市街地形成を促している。医療計画で唯一機能している病床規制だけでなく、病院の再編・統合を進めるにあたり、将来の人口減少や国交省の街づくりの考え方と連動するよう、再建場所についての規制や条件付けが必要だ。そこに地域医療介護総合確保基金による補助金を傾斜配分し優遇すべきだ。そうした指針があれば、我田引水的な政治家の横やりを跳ね返すことができるし、一部住民のわがままも反論できるのである。

○ツケを背負う住民

日本の将来を見通した時に「絶対」に起こる事象は日本人の人口減少である。地方は新型コロナウィルス感染症の終息後さらにその傾向が顕著になると考えている。2021(令和3)年の出生数が81万人台前半と、推計より6年早く出生数の減少が進んでいるという。厳しい環境の中で、既得権や今の生活だけを考える政治や行政、一部の声の大きな住民の意見を聞くだけでは、地方は必ず衰退する。未来志向で改革をしなければ、ツケは声の小さい多くの住民が払うことになる。

経営環境が変われば経営戦略・人材戦略も変わる(23)

一般財団法人竹田健康財団 法人事務局長 東瀬 多美夫

■安全配慮義務

病院職員の新型コロナウイルス感染症防止のため、病院が必要な措置(ビニールシート設置、黙食、菌磨き飛沫飛散配慮、外食自粛等)をとることは、2008年3月に施行された労働契約法の安全配慮義務の履行に他ならない。

病院は職員との間に労働契約を締結し、職員より労務の提供を受ける代わりに賃金を支払う義務を負うのだが、労働契約上、病院が負っている義務は、この賃金支払い義務だけではない。使用者(病院)は、「労働者が労務提供のため

に設置する場所、設備若しくは器具等を使用し又は使用者の指示のもとに労務を提供する過程において、労働者の生命及び身体等を危険から保護するように配慮する義務」即ち、労働者(職員)に対する安全配慮義務を負っている。依って、病院は職員の労務提供過程(業務)において疾病に至らないよう配慮しなければならぬ。

しかし、法律による安全配慮とはいえ生活制限は様々な支障が生じてくる。こういった生活制限が既に3年も継続している。外に飲

みに出ていた知り合いは毎日自宅

飲みで、外で飲むより上等な酒を楽しんでいたが、外飲みが恋しい事なら毎回、孤独な食事、孤食をとっている。食事は誰かと共にすることで、より楽しい時間を過ごすことができる。これを共食、協食、教食というらしい。家や外で、食卓で会話を交えながら食事をするのは、お互いの理解が深まる場となり、心の豊かさにもつながってくる。家族や気の合う仲間や友人と共に食事をとることは生活の質を向上させてきた。

この3年、新人歓迎会や花見納涼会、運動会、忘年会、新年会、送別会、懇親会、反省会、気の合う友人とふらっと一杯等、あんなにあつた呑みにケーションが全く無くなり飲み会の名前すら思い出せない。そして黙食や宴会・食事会の自粛により、職員同士のコミュニケーションが希薄になり、メンタルヘルスに問題を抱える職員が増加しつつあるようだ。

メンタルヘルスという言葉が使われるようになったのは、85年頃からで、84年2月21日、業務による精神的ストレスで発病し自殺未

遂に至った労働者から、労災保険による保険給付の請求がなされた事案を、中央労働基準監督署長が業務上と認定したことを受け、労働省がメンタルヘルスケア研修会を86年〜88年度に全国で開催したことにより広まったらしい。

病院はメンタルヘルスにおいても、安全配慮義務を果たさなければならぬ。身体の病気に配慮する場合と同様に、職場の人間関係(パワーハラスメント等の防止等)、経験がないとか不慣れで対応が困難な業務に就く際、そしてコロナ対策によるこころの問題への配慮等、多様で非定型的な配慮が必要とされていると思う。

自分の悩みを誰にも相談できないことほど苦しいことはない。こんな状況を改善する、萎えたココロを刺激する何かが、できないかとずっと悩んでいる。

■道草して帰ろうキャンペーン

山鹿クリニクは7階建てで、交差点を挟んで竹田綜合病院の北西斜向かいにあり、02年12月にオープンした。建物四隅のうち交

差点側がR型になっていて、そのR部分はガラス張りで1階から7階に向けて反りがついている。東西の壁面はガラス張り、南北は大理石張りのカーテンウォールで、医療機関らしくない建物である。家庭において受診する医療機関を決めるのは妻であり母親である女

性だから、その司令塔に訴求する機能を備えた空間の創出を目指した。各階の色調や家具類は、米国人カラー・コディネイターに依頼しウェイファインディングを企画してもらった。特に家具はデンマーク製を中心に北欧家具を導入した。スワンズチェアやマツキン トッシュ等、多分地方では、一生のうちに見ることもなく、座ることもない、他にはない椅子を多数導入している。

その山鹿クリニク1階のR部分にカフェドマーニが営業している。開業時、ここにはドトール・コーヒーが営業していたが、12年10月、竹田綜合病院建替え開業時に病院1階に引越したので、1年ほど空き店舗となっていた。しかしながら、交差点に面した店舗が空き店舗では寂しいと多くの意見が寄せられ、13年11月、思い切った財団直営で営業を開始した。経営企画課の20代女性職員と社員食堂の30代女性職員を指名し準備を進めてもらった。

カフェドマーニには、ここにしかない何か(商品又は装置)をおきたかったのだ、常にその何かを探していた。ある日、テレビで京都市にあるダイイチデンシ株式会社のカフェドマーニを知り、出張時に渋谷円山町のダイイチデンシ東京ラボセンターを訪問し現物を確認後、早速発注し設置した。この装置は豆の

種類とブレンド比率により焙煎してくれる優れモノだ。誰が操作しても最適の焙煎が実施され同品質のコーヒー粉が精製される。焦げ臭くない。コーヒー豆も商社抜きで同社から安価に購入できるから価格設定も自由度が大きい。

そのカフェドマーニがオープンして10周年を迎え、記念イベントをしようと思案していた。夜勤明け、日勤後(休憩時間)に家に直帰するのではなく、無料のコーヒーを飲みながら短いコミュニケーション(茶話会)で緊張感を和らげてもらうのはどうか。強ばった顔、萎えたココロを穏やかにしてほしいと思った。思い切った1か月やってみようとなった。イベント名は「道草して帰ろうキャンペーン」と名付け、人事課20代女性職員にまかせた。道草とは、道ばたに生えている草、目的の所へ行き着く途中で他の物事に

かかわって時間を費やすこと、寄り道、回り路等の意がある。たまには、回り路も良い。安全配慮義務を履行するには、こころの健康が第一だ。こころの健康を保つことにより、身体の健康につながる。「元氣」が出てくるのではないか。欧州で侵略戦争に耐えている国のことを思えば、こんな平和な日本では、元氣があれば何でもできると思う。毎日盛況を博している(売上も伸びている)。



小山所長の

暗模索

ペリー(バリトン) ウィーン国立歌劇場合唱団(合唱指揮・ヴァルター・ハーゲンIIグロル) ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 1980年11月19日〜24日録音、を大絶賛しています。

W杯には人々の『歓喜』の瞬間が数多くあります。『歓喜』という言葉を覚えたのは(ベートーヴェン 交響曲第九番 二短調 作品125)を聴いた時です。ベートーヴェン自身はタイトルをつけなかったそうですが、世界では通称として「合唱」や「合唱付き」とも呼ばれています。日本では「第九」といえばベートーヴェンで年末の風物詩になっていますね。

第4楽章の旋律は有名な『歓喜の歌』で、シラーの詩『歓喜に寄す』から3分の1程度を抜粋し、一部ベートーヴェンが編集した上で曲をつけたとのことですが、この曲は人類の貴重な文化遺産そのものだと思います。

第九については、たくさんの逸話があり、音楽評論家の論争にまで発展したこともあれば、誰の演奏が一番であったかという議論は尽きません。わたしの愛読書の一冊である諸井誠さんの『クラシック名曲の条件』(講談社学術文庫)では、カール・ベームの「最後の録音」版、ジェシー・ノーマン(ソプラノ)、ブリギッテ・ファスベインダー(アルト) プラシド・ドミンゴ(テノール)、ヴァルター・

ペリー(バリトン) ウィーン国立歌劇場合唱団(合唱指揮・ヴァルター・ハーゲンIIグロル) ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 1980年11月19日〜24日録音、を大絶賛しています。

面白いのはその後の記述で、「フルトヴェングラーの名演盤、日本でいちばん人気のある、やはりゆつたりしたテンポのバイロイト祝祭管弦楽団との一九五一年のラ

イヴ録音とともに、これは、永遠の名盤として、歴史に偉大な足跡を残すことになるう」と書いてあるのです。なんか、「みんなはフルヴェンが最高だなんていつてるけど、本当は八〇年のベームの第九に惹かれてるんだよ」という本音が愉快です。

人それぞれ好みがあり、指揮者とオーケストラそして歌手との組み合わせにもよりますので、絶対的評価があるわけではありませんが、今年のクリスマスは「第九」のコンサートで歓喜させていただきます。

◎バイロイトのフルヴェン

もう少しお付き合いください。

書店で「バイロイトのフルトヴェングラー バルバラ・フレームル夫人の独白」取材・文/眞峯紀一郎・中山実(音楽之友社)を買って、ゆっくり読み進めてきました。興味深いのは、ワグナーが自分の楽劇のために建設したバ

イロイト祝祭劇場でなぜ「第九」が演奏されることがあるのかという事です。それは1872年の劇場の定礎式の後、バイロイトにある「辺境伯劇場」でワグナーが第九を指揮したことで「祝祭劇場で演奏される、ワグナー以外の唯一の作品として地位を保ち続けている」からとのことです。

気難しそうなワグナーですが、交響曲の完成者としてのベートーヴェンを心から尊敬し、彼の音楽を徹底的に研究し、そして指揮することを喜びにしていたことがよくわかります。第九とワグナーのつながりが理解できたような気分になり幸福です。

フルトヴェングラーは1945年2月7日にスイスへ亡命し、47年には指揮を再開させています。しかし、占領軍はバイロイト祝祭劇場の再開をなかなか認めませんでした。その再開記念日に第九が演奏された録音盤が51年版です。当時、劇場内には「こうもりが飛んでいた」そうですが第九演奏後に「30分間拍手が鳴りやまなかった」そうです。戦後ドイツではナチ残党の追求と協力者に対する批判が長年続きました。ワグナーの長男の妻ヴィニフレートはヒトラーと親交を深め、その長男であるヴィーラントは兵役につかずナチ党員でしたので、ワグナー家による劇場再開は苦難の道でした。

フルトヴェングラーは54年にも

バイロイトで第九を指揮し、その年に肺炎で死亡します。指揮者は、最晩年に向かって円熟する例が少なくないように思います。偉大なマエストロ達の作品を一生かかって研究し、自らも最晩年まで成長させる姿は、ご立派ですし、そうありたいと願います。

◎自分を信じる力

ドイツ人は「自分の人生」を自分らしく生きています。「場の空気を読み、他人に嫌われないように生きてきた自分とは、まったく違っていました」からはじまるキューリング恵美子さんの「ドイツ人はなぜ『自己肯定感』が高いのか」(小学館新書414)は「ストレスフリーな生き方の極意」を伝えていて、とても新鮮な本にまとまっています。

ドイツの若者は「自分には長所があり」「自分自身に満足している」割合が高く、日本では高くないといわれれば、そうなんだろうと思ってしまう。「自己肯定感」との関係は必ずしもあきらかではありませんが、各種「幸福度」「健康度」などのアンケート調査でも、日本が低いという結果が多いです。日本では、肯定的で積極的で楽観的で能動的が過ぎると「和」を乱すとか「空気が読めない」という批判があるように思いますが、もっと「自己肯定感」を高めた方が生きやすいのではな

いでしょうか。それを理解しても、ドイツ人が飛びぬけて「自己肯定感」が強いのか、米国やフランスと同じ程度なのか、単に日本人が「なんとなく自信がない」のかもしれない。それにしても欧州の中ではドイツが「自己肯定感」が高いといわれると、納得してしまいます。

◎W杯で欧州の歴史を知る

そう思うのは、今野元さんの『ドイツ・ナシヨナリズムー「普遍」対「固有」の二千年史』(中公新書2666)を読んで、この30年間でドイツ人が一層「自己肯定感」を高めているような気になるし、欧州のリーダーの地位に在ることは明らかだと、わたしが勝手に想定しているからなのかもしれない。この本の帯には、「欧州に冠たるドイツ」による世界の道徳的「征服」とあり、楽しめました。ついでといつては申し訳ないですが、中嶋洋平さんの「社会主義者前夜ーサンシモン、オーウェン、フーリエ」(ちくま新書1688)は学生時代にマルクスとかオーウェンを読んだことがある方に、お奨めです。少し前ですが「ヨーロッパはどこかー統合思想から読む2000年の歴史」(吉田書店2015年)も習作です。中嶋先生のような若手学者がいれば日本はまだまだ戦えますよ。「ブラボー日本」いいですね。

私・愚管抄

第九回 感染症は時代を映す鏡
—C型肝炎ウイルスとその時代 其の二—

東京都済生会向島病院 院長 塚田 信廣

今は昔。私が医師になった頃、

大学の消化器内科学教室は、通称

「肝研」と呼ばれ、肝臓疾患、中

でも肝炎、肝硬変、肝臓癌に罹患

した多くの患者さんが通院、入院

していました。C型肝炎ウイルス

(HCV)はまだ発見されておら

ず、ウイルス性肝炎に対する特異

的な治療法も無く、新米内科医の

1日は、肝疾患入院患者への肝庇

護剤、グリチルリチン製剤の静脈

注射が始まります。外来の患者は、

毎日この注射のために通院してき

ます。頻回の注射のために血管は

硬く潰れて、注射針を刺す場所も

無くなってきます。病室や外来処

置室の待合では常連、古参の患者

たちが、「あの新米医者は注射が

下手くそだ。あの人は上手い」な

どと噂し、一発で針が血管に入る

と、有難いことに？その後はご指

名にあずかったりします。「実験

で扱うラットの血管のほうによっ

ぽど細くて難しい。こんなのお茶

の子さいさいだ」などと軽口を叩

いて、その日一日はとても気分よ

く深夜の実験にも励めました。

安静を保ち、運動は控える。高

蛋白・高カロリー食を摂取する。臥

位から立位になると30-40%肝

臓への血流が低下するから、特に

食後1-2時間は横になる。しか

も肝臓は体の右側にあるのだから

右側臥位になれば、食後の栄養に

富んだ門脈血が肝臓を潤す。そう

してビタミンと肝庇護剤を投与し

てAST(GOT)、ALT(G

PT)の低下を待つ。本当に気の

毒なことにASTやALTの上

り下がりに一喜一憂する、いわゆ

るトランスアミナーゼ病(GOT

病、GPT病)なる状態の患者さ

んが大勢おられました。そして少

なからぬ太った慢性の肝臓病患者

が長期入院、外来通院されていま

した。これが1980年代まで

脈々と続いていた慢性肝臓病の主

たる治療法であり、臨床風景です。

コロンビア大学のArthur

Patelらによって、41年に発表

された栄養障害を伴うアルコール

性肝硬変に対する高カロリー・高

蛋白質・高ビタミンによる栄養療

法は、第二次大戦後の食糧事情が

貧しい日本では、肝臓病患者には

画期的かつ普遍的な治療法として

受け入れられました。しかし「も

はや戦後ではない」という言葉が

経済白書に登場したのは56年です

が、70年代後半からは、日本でも

肥満と脂肪肝は社会全体の問題と

なってきたいましたし、肝臓病患

者はウイルス性でも、アルコール

性でも、肥満が増えていま

た。現在では糖尿病や過栄養によ

る肥満が肝硬変や肝臓癌の危険因

子であることは常識です。今から

考えると信じられないことであ

り、医学・医療も時代とともにあ

る、今日の常識が明日の非常識、

単なる思い込みが変わることを数

多く経験しました。その後90年

代から大流行のEvidence-Based

Medicine(EBM)、そしてその揺

らぎ、批判的吟味、何でもかんで

も疑ってかかる、なんだか性格が

さらに悪くなった気がします。

非A非B(NANB)型肝炎に

対し、副腎皮質ホルモンや既存の

抗ウイルス剤による治療が試み

られてきましたがどれも無効で、一

方、冒頭で述べた、肝細胞膜安定

化やステロイド様作用のある静注

用のグリチルリチン製剤(経口剤

は効かない)の有効性は広く認め

られ使用されてきましたが、それ

でもウイルスの排除は叶いま

せん。86年にJay H. Hoofnagleら

はNANB型肝炎に対しインター

フェロン(IFN)を投与し、ト

ランスアミナーゼ及び組織学的改

善を報告しました。HCVが88年

(査読のある科学誌Scienceに発

表されたのは89年)に発見され、

米国では91年、わが国でも92年か

療が認可されました。IFN単独

問題の発火点になりました。予想

を上回って売り上げが大きく拡大

した医薬品の薬価を大幅に引き下

げる特例市場拡大再算定の導入に

も繋がりました。高額な医薬品に

社会がどうお金を出すのか。「お

金は天から降ってくる」とばかり

にほとんどの医療者や国民が考え

てこなかった、あるいはあえて考

えることは罪だと封印してきた

「限りある医療資源の最適配分」、

「費用対効果評価」を議論しても

許される環境作りのきっかけにも

なりませんでした。

それにしてもDAA製剤は本当

に優秀な薬で、ほとんどの患者で

HCV排除が達成でき、薬剤の年

間販売額は減り続けているそう

です。これは、その後の薬剤価格引

き下げで総額が抑制された上に、

薬の効果で治療を要する患者数が

減ったことと表れ、極めて費用

対効果の高い薬でした。

肝炎ウイルスもAからE型まで

同定され、B型肝炎ウイルス(H

BV)も核酸アナログ製剤でコン

トロールできる様になり、これま

でHBVやHCVが主体であった

肝臓病は激減しています。肝臓研

究の輝かしい勝利です。プロメテ

ウスの肝臓に興味は尽きません

が、肝臓専門医を目指す若手医師

がめっきり減った気がします。母

校の研究室が、その昔「肝研」と

言われていたことを知る同窓生

も。一抹の寂しさを感じます。

スラブの草原にある湖。湖面に浮かぶお月様に『たとえ、つかの間でも、いとしい人がわたしの夢をみるように！』と祈る姿は、そのまま美しい絵画になりそうです。アントニン・ドヴォルザークの水の精のオペラ《ルサルカ》第1幕でせつせつと詠まれる『月に寄せる歌』はチェコ語のアリアとして秀作だと思えます。

なんとなく疲れた時に、世界で『MOON・SONG』として愛されているこの歌に触れると、ファンタジーの世界に引き込まれるとともに、甘酸っぱい青春の薫りがするようになります。

ある日、湖に水浴びにきた人間の王子に一目惚れした水の精

水の精ルサルカの純愛を伝えるプラハ

ルサルカは、魔法使いの《イェジババ》に「人間にして欲しい」と頼みます。魔法は「人間の魂と容姿を与えることはできるが、その代わりに声はだせなくなるよ」とさとしませんが「あのお方を知ることさえできれば、声なんかいらない」といいます。「もし、この恋に破れたら、故郷の水底には戻れる」という忠告も上の空で、美貌のお姫様の姿にしてももらいます。魔法の力で引きよせられてやってきた王子は、ルサルカをとても気に入らぬお城へといざない、すぐに結婚の宴を開こうとします。王子はルサルカが口をきかないことに悩み苦しむルサルカを邪険に扱います。おまけに宴のためやってきた別の国の公女に惹かれます。ルサルカは傷つき、水の精の父親は怒り狂ってルサルカを湖に連れ帰ってしまいます。

ルサルカは絶望しているものの、王子への想いは断ち切れません。《イェジババ》は「このナイフで裏切った王子を刺し殺せ」とルサルカを探しに来た王子はルサルカと『愛する人、わたしが分かる？』の二重唱を歌います。ルサルカの声を初めて聴いた王子はル

サルカに迫りますが、ルサルカはキスした途端に死んでしまうことを告げます。それでも2人は抱きあつたままキスして暗い水底に沈んでいきます。歌もオーケストラもなんとなくスラブというかチェコの美しい自然を強く感じます。石畳と尖塔が立ち並ぶ美しい古都プラハには、数多く劇場があります。オペラは、欧州最古の劇場のひとつで旧市街地にある《エステート劇場》、プラハ中央駅のそばにある《国立歌劇場》、そしてヴルタヴァ川沿いのチェコ軍団橋のたもとにある《国民劇場》の3か所です。1781年から建設

が始まった《エステート劇場》は1789年10月29日にプラハ市民に捧げられたモーツァルトの《ドン・ジョヴァンニ》の初演が行われました。《国立歌劇場》はプラハのドイツ系住民がドイツ語の上演を求めてドイツ人らが建てた劇場で、今のプラハ市民は「ドイツ劇場」と呼んでいるようです。それに対して《国民劇場》は「チェコ語によるチェコ人のための舞台」として1868年に基礎をおかれ、81年に完成しました。



ハンガリー二重帝国を成立させ、チェコ国民はチェコ語の禁止のようなひどい仕打ちを受けました。第2次大戦ではナチスに占領され、その後独立を果たすもののソビエト陣営に組み込まれつつ新しい社会主義「プラハの春」を目指しますが、1968年ソビエト軍がプラハに戦車で侵攻する「チェコ事件」が起きました。今は昔ですね。

プラハには《スメタナホール》《国立マリオンネット劇場》そして《新国立劇場》もあります。オペラを鑑賞し、おいしいチェコ・ビールを片手にモラヴィアやボヘミアの自然や文化に酔いしれたいと夢見ています。

小山

医療介護経営研究会

医療界をリードする講師をお招きし、コメンテーターを交えて自由闊達な意見交換ができる **経営者限定の会員制研究会** です。2003年に発足し200回を超えて開催しています。社会医療ニュースの読者限定で3人まで **<無料での体験参加>** を受付けます。

九州 12/10『人口減少下の地域を考える (仮)』
大正大学地域構想研究所 教授 小峰隆夫氏

九州 1/14『地域住民に支持される病院づくり (仮)』社会
社会医療法人 河北医療財団 理事長/
公益財団法人 日本医療機能評価機構 理事長 河北博文氏

東京 1/14『地域住民に支持される病院づくり (仮)』社会
社会医療法人 河北医療財団 理事長/
公益財団法人 日本医療機能評価機構 理事長 河北博文氏



↓ 詳しいご案内はこちら ↓
http://www.hcsrev-f.or.jp/WS000_list/



一般社団法人

医療介護の安定と地域経済活性化フォーラム

東京都中央区日本橋本町2-3-11 日本橋ライフサイエンスビルディング408 TEL : 03-6262-5774

関連イベント情報 掲示板

第14回 学術研究大会開催

日本臨床看護マネジメント学会の学術研究大会が開催されます。

地域ケア包括ケアシステムが推進され、地域完結型体制への交換により看護管理者の活躍の場が拡大しつつあります。またCOVID・19により従来どおりの医療提供が困難になったり、働き手のニーズが多様化したりと、医療を巡る状況は目まぐるしく変わっています。そうした変化の激しい時代において、次世代のリーダー育成は重要な課題と言えるのではないのでしょうか。

一方、「看護師長になりたくない」「責任が重く自信がない」と昇進を希望する看護師は少なくありません。前向きではない人をどうすれば「難しそうだけどチャレンジしたい」という気持ちにできるのでしょうか。これからの社会に求められる看護管理者像を知り、看護管理者の育成方法についてのヒントを得る機会となればと考えております。

皆様のご参加、心よりお待ちしております。

【日時】2023年2月5日(日) 10時～16時

【場所】東京都看護協会+Web
【大会長】米山美智代(高岡市民)

病院 副院長・看護部長)

【テーマ】後継者をどう育てるか？
組織の成長のカギとなる次世代リーダーの育成)

【参加費】(事前登録) 会員.. 7000円、非会員:8000円、
(当日参加) 会員..8000円、非会員..9000円

【プログラム】講演1「看護管理者に期待される能力と教育ー認定会からー」木澤晃代(日本看護協会常任理事)

講演2「なぜ看護師は昇進を希望しないのか?次世代リーダー育成のポイント」高田誠(株式会社オーセンティックス代表取締役)

講演3「重症度、医療看護必要度の活用ーポストコロナの病棟再編にデータを活かすー」箕浦洋子(関西看護医療大学看護学部教授)

実践報告1「地域包括ケア推進に向けた自律した看護管理者育成への取り組みーマネジメントトラダールによる教育体制の構築ー」川岸孝美(かみいち総合病院看護部長)

実践報告2「テーマ未定」吉川孝子(春日部市立医療センター副院長)

講演4「看護のマネジメント力、今までとこれから」嶋森好子(日本臨床看護マネジメント学会理事)

事長)

【申込】HPよりお願いいたします。
(<https://www.jsnam.com/>)



2022年度地域包括ケア病棟アカデミー第5講～7講開催!

地域包括ケア病棟協会主催の地域包括ケア病棟アカデミー「これであなとも地域包括ケア病棟のエキスパート」について5講から7講まで参加申込受付中です。地域包括ケア病棟アカデミーは全編オンデマンド配信ですので積極的に視聴ください。

本アカデミーを修了された皆様が地域包括ケア病棟のエキスパートになって活躍されることを願っています。ぜひ皆様ご参加ください。

【第5講】2023年1月23日
2月20日「リハビリテーション(含む 補完代替リハビリテーション)」

【第6講】2023年2月21日
3月20日「NST・SST」

【第7講】2023年3月22日
4月20日「在宅復帰支援」
Person Flow Management
【受講料】会員無料、非会員5000円/回

【申込】お申込、詳細についてはHPをご確認ください。
(<https://chiki-hp.jp/academy2022/>)

建替時の問題を明瞭に解決します

医療機関の建替え・新築移転では人手不足、予算不足、納期不安、移転計画等、課題が山積みです。私たちメディアックスは、建替えの専門家として貴院のプロジェクト成功に向けて総合的に支援します。

購入支援

現有機器調査/価格交渉
入札準備/納品管理
発注管理/リスト整備 など

移転支援

移転計画/運用計画
移転費用圧縮
患者搬送計画 など



建築支援

医療設備調整/図面プロット
定例会サポート
追加工事回避/圧縮案 など



株式会社 メディアックス

〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-5-9五東ビル6階

TEL:03-5614-0961 FAX:03-5614-0962 ✉kanri@medi-ax.jp

オフィシャルサイト <http://medi-ax.jp>

ポータルサイトドクナビ <https://dr-navi.info>